

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ベット上の時間が長い入居者にベッドを離れる工夫を検討するなど、関係者から情報を集め、入居者の意欲や自信を引き出し、生活の質の向上に繋げる介護計画の作成が望まれる。	ベット上の時間が長い入居者にベッドを離れる工夫を検討し、関係者から情報を集め、入居者の意欲や自信を引き出し、生活の質の向上に繋げる介護計画を作成する。	ベット上の時間が長い入居者をなるべくリビングで過ごしてもらい、入居者やスタッフとのコミュニケーションを持ってもらう。入居者・家族・スタッフの希望や意欲を聞き、センター方式を利用し入居者本位の介護計画を作成していく。	6ヶ月
2	23	日々のかかわりの中から把握できた入居者の意向を、センター方式を利用するなど皆で共有できる記録の仕方を工夫し、入居者に必要な支援に繋げたい。	利用者と日々のかかわりの中から把握できた入居者の意向を、センター方式の中の暮らしの情報B-3、心身の情報C-1-1・C-1-2、焦点情報D-1を使って皆で記録し共有していく。	スタッフが分担して利用者と日々のかかわりの中から把握できた入居者の意向を、センター方式の中の暮らしの情報B-3、心身の情報C-1-1・C-1-2、焦点情報D-1を使って皆で記録していく。	2ヶ月
3	10	家族会の頻度や内容の見直し、アンケートの実施など工夫して、幅広く意見・要望を表せる機会を設け、運営に反映させる。	家族会を定期的に開催し、家族の意見・要望を聞き、運営等に反映していく。	運動会に家族会を兼ね、家族さんの参加を呼び掛け、食事をしながら意見や、要望を聞いた。出された要望は、速やかに対処していく。	6ヶ月
4	40	入居者と一緒にメニューを考えたり、買い物・調理をしたり、同じ食卓を囲むといった内容を更に工夫し、食卓が一層楽しみとなるような取り組みに期待する。	入居者と共に、メニューを考え、買い物に出掛けたり、声掛けして調理をしていく。	入居者の食べたいものを聞き、共に買い物・調理して、楽しい食卓を皆で囲む。	1ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。